長寿安心プラン 2018 の概要について

1　計画の期間と見直し

介護保険制度改正や地域の実情を踏まえ、2018 年度（平成 30 年度）から 2020 年度までの３年間の計画を策定

2　国の介護保険制度改正の内容

高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性の確保に配慮

- 新しい介護保険施設として、「介護医療院」を創設
- 高齢者と障害のある人が同一の事業所でサービスを受けやすくするため、共生型サービスを導入
- 介護サービスの利用者負担が２割の方のうち、特に所得が高い方の負担割合を３割に変更

3　「長寿安心プラン 2018」策定のポイント

（１）介護が必要になった高齢者の生活の維持に向けたサービスの拡充と地域支援体制の強化

（２）要支援者など介護の必要性が低い高齢者の介護予防・重度化防止の推進に向けた医療面・介護面からの施策の充実

（３）心身の状況、生活環境に応じた多様な高齢者の社会参加の促進

4　計画実現に向けた基本理念と施策目標

「長寿安心プラン 2018」策定のポイントの実現に向けて、具体的に介護の受け皿整備、高齢者の生きがいづくり等の高齢者福祉施策を実施するため、３つの基本理念と、７つの施策目標を設定

（１）基本理念

① 高齢者が尊厳を持って暮らせるまちづくり

② 住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けられるまちづくり

③ みんなで高齢者の暮らしを支えるまちづくり

平成30年度　第１回 金沢市介護保険運営協議会	資料３
平成30年８月７日	

（２）施策目標

１　多様な住まいの確保 ・介護保険施設等の計画的な整備
２　介護サービス・在宅医療の提供体制の充実 ・介護職員の定着促進に向けた魅力ある働きやすい職場環境の整備を支援 ・在宅医療・介護連携支援センターによる多職種連携推進のための研修の開催 ・高齢者の負担増を極力抑制した保険料の設定
３　生活支援・介護予防の提供体制の拡充 ・地域における生活支援・介護予防体制を強化するため、生活支援コーディネーターを配置 ・介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス提供体制の拡充 ・フレイル（心身の活力低下）予防推進のため、フレイルサポーターを養成
４　高齢者の社会参加の促進（新規） ・アクティブシニア支援検討会において、高齢者の多様な社会参加促進策を検討 ・ボランティアの実績に応じてポイントを付与する介護支援ボランティアポイント制度を開始
５　認知症の方を支える体制の充実 ・ＩｏＴを活用した認知症高齢者の地域見守りネットワークの構築 ・認知機能向上教室の開催圏域を拡大（３か所→12か所） ・若年性認知症カフェをはじめ、本人や関係者が交流できる居場所づくりを支援
６　高齢者を支える重層的ネットワーク体制の構築 ・地域課題の集約、分析、解決方法の検討を行うため、地域ケア会議を開催
７　市民への適切な情報提供と市民参加の促進 ・高齢者施策に関するパンフレットやホームページの充実や、地域説明会などを通じて、市民が情報を入手しやすい環境を推進